

地震災害予測研究会（第3回）議事要旨

日 時：平成21年11月20日(金) 15:00～17:00

場 所：損保料率機構 3階C会議室

出席者：（順不同、敬称略）

（委員）北川良和 翠川三郎

和泉正哲 額瀨一起 境有紀 林康裕 緑川光正

（機構）大滝(リスク業務室長) 丸楠(火災・地震保険部地震グループリーダー)

（事務局）損保料率機構リスク業務室

議 事：

1. これまでの議論の整理について

- A. 事務局より、第1回目、第2回目研究会の議論について要点整理がなされ、今後の研究会の検討方針について説明があった。

2. 地震保険の損害調査について

- A. 事務局より、地震保険の損害調査方法の概要について説明があった。

3. 住宅の被害予測に関する課題の整理、課題および研究方針の検討について

- A. 事務局より、住宅の被害予測手法の改善に関するこれまでの取り組みやそこで
の課題、今後の研究方針案について説明があった。

B. 委員から、下記の意見があった。

- 1) 建物の耐震性能は個体差が大きいため、その調査結果の利用方法には十分注意する必要があること
- 2) 非木造住宅の被害予測手法の検討にあたっては、建物高さに応じて課題や考慮すべき事項が異なるため、その整理をまず行う必要があること
- 3) 地震保険の支払実績を利用して被害予測手法を構築する検討が重要であること

以 上